

漁港における快適な就労環境に資する施設整備手法の開発

水産土木工学部 漁港施設研究室 佐伯公康, 坪田幸雄

漁港は水産業の基地であり多くの漁労作業が行われていますが、就業者の高齢化や減少が進む中、安全、快適、利便性と言った漁港の働きやすさとしての質が問われています。本研究では、就労環境改善の観点から、漁港内作業の実態の特性を把握し、その労働負荷を分析した上で、漁業者の就労環境を向上させるための施設整備手法を開発します。

漁港で行われる作業は「陸揚げ」「仕分け」「漁具準備」に大別でき、それぞれ、漁港施設に求められる機能が異なります。そこでそれぞれの作業の評価項目を整理し、水産の作業の実態を見据えて、問題点の抽出と、定量的な評価手法の構築に努めています。

評価項目一覧と調査実施状況



陸揚げ作業



仕分け作業



漁具準備作業

評価項目 \ 作業種類	・寒暑 風雪	・トイ シ	・夜間 照明	・作業 姿勢	・負荷 荷重	・事故 防止	・空間 広さ	・作業 動線
陸揚げ・積み込み								
仕分け・運搬								
漁具準備								

□ :15年度までに計測
またはアンケート実施

現場の意見
「隙間を吹き抜ける突風が寒い」
「手先、足元から冷える」

H15調査実施
温度・風速測定、
着衣量の調査

既存指標による
環境評価



現場の意見
「夜間、港内が暗い」
「市場で魚の品質が見分けにくい」

H15調査実施
照度の測定、
光色の調査

安全・作業能率
向上への提言



着衣量調査の結果(長崎漁港)

調査時期	8月		12月	
	A(選別)	B(運搬)	A(選別)	B(運搬)
従事作業の区分	A(選別)	B(運搬)	A(選別)	B(運搬)
調査対象者数	7	13	23	21
clo値平均	0.57	0.47	1.30	1.43
手袋枚数	1.6	0.4	2.6	0.4
靴下枚数	2.3	1.0	2.5	1.2

clo値:衣服の熱断絶能を表す値。(上の値は聞き取り調査と文献により推算した) ※clo値と枚数は一人当たりの平均。

岸壁の照度の時間変化(長崎)

